

日本認知科学会の学会誌「認知科学」に論文が掲載されました

株式会社ベネッセスタイルケアの社内シンクタンクであるベネッセ シニア・介護研究所の主任研究員 福田亮子を筆頭に執筆した「超高齢社会を支える車のあり方：その人らしさに深く寄りそう車を目指して」が日本認知科学会の学会誌「認知科学 Vol.25 No. 3 (Sep. 2018)」に掲載されました。

高齢者と車を取り巻く問題は、非当事者の立場からの、安全の確保中心の見方で対策が進められているのが現状となっています。安全の確保を前提としつつ、当事者の、運転する楽しみや生きがいの継続という視点からの議論がもっと行われても良いのではないかと考え、高齢者自身の視点をより活かし、高齢期になってもその人らしい生き方をサポートできるような車のあり方について論じています。

■ 認知科学 Vol.25 No. 3 (Sep. 2018)

http://www.jcss.gr.jp/publishing/journals/journal_backnumber/entry-317.html

本内容に関するお問い合わせ
ベネッセ シニア・介護研究所 福田
03-6836-1075